

第44回議会運営委員会会議記録

- 【開催日】 平成29年9月5日（火）
【開催場所】 第2委員会室
【開会・散会時間】 午後1時3分～午後1時52分
【出席委員】

委員長	大井 淳一朗	副委員長	河崎 平男
委員	石田 清廉	委員	下瀬 俊夫
委員	矢田 松夫		

【委員外議員等】

議長	尾山 信義	副議長	三浦 英統
傍聴議員	長谷川 知司	傍聴議員	山田 伸幸

【執行部出席者】

副市長	古川 博三	総務部長	今本 史郎
大学推進室長	松永 信治	大学推進室副室長	大谷 剛士

【事務局出席者】

事務局長	中村 聡	事務局次長	清水 保
主査兼庶務調査係長	島津 克則	議事係長	中村 潤之介
議事係主任主事	原川 寛子		

【付議事項】

- 1 平成29年第3回（9月）定例会に関する事項について

【議事の概要】

- 1 平成29年第3回（9月）定例会に関する事項について

(1) 山口東京理科大学薬学部増築工事請負契約の一部変更議案について

- ・古川副市長から9月定例会に上程した議案（理科大薬学部建築主体工事の請負契約の一部変更）が工事完了後に出された不手際についておわびがあった。また市長から議会に対する真摯な説明と再発防止について指示を受けたことが報告された。
- ・松永大学推進室長から今回の変更契約の経緯について報告があった。
- ・大井淳一朗委員長から「工事な詳細な中身については理科大特別委員会で審議するが、説明を受けて質疑があれば」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「工事の経過の説明だけだったが、だからどうなのか」との発言があった。

- ・古川副市長から「薬学部建設についてはこれまでも臨時会開催や途中上程など議会に礼を失してきた。今後は早めの協議、情報提供に留意していきたい。また専任の大学推進室長を選任するなど組織体制を整えている」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「経過は分かったが、前市長のときも執行部として猛省を促すと言ったと思う。またこういう議会軽視が起こったことに対して非常に憤りを感じる。謝罪以外の執行部のペナルティはないのか」との質問があった。
- ・古川副市長から「おわびをする以外にはない。今後は速やかに議長などに相談し、事を進めていきたい」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「今回は正副議長も含め、議会には一切説明がなかったということか」との質問があった。
- ・古川副市長から「大学以外においても速やかに正副議長や担当委員会の委員長には相談、説明をするよう、今後庁議等で徹底していきたい」との発言があった。
- ・石田清廉委員から「今回の専決処分は軽易と判断されたのか」との質問があった。
- ・大井淳一郎委員長から「今回専決処分ではないが、専決処分と受け取られても仕方がない。こういうイレギュラーのことに対してどう思っているのか」との発言があった。
- ・古川副市長から「臨時会や専決処分という手法もあったが、それも一切していないのは私たちの落ち度である」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「議会議決がなくて執行し、専決処分もされていない場合、自治法違反であるという認識があったのか」との質問があった。
- ・松永大学推進室長から「今回提案の案件については法の趣旨を逸脱しているという認識である」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「実際に議案を提案したのはどの部署なのか」との質問があった。
- ・松永大学推進室長から「提案は大学推進室で出している」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「議会に提案される議案は庁議の場で確認された上で提案されると思っていたが、何人かの職員に聞いたがよく分からなかった。まず執行部内でどう意思統一をしたのか」との質問があった。
- ・松永大学推進室長から「過去の経緯を精査して提案すべきであったが、既に議会に報告等をしているという思い込みで処理した」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「総務部でなぜ分からなかったのか」との質問があった。

- ・今本総務部長から「議案を提出する前に庁議で議案の内容について各担当から説明がある。理科大の工事も内容の説明はあったが、済んでいる工事という説明を受けた記憶はない。各部長の返答も済んだものを出したことがよく分からないということだと思う」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「その答弁は理解しかねる。市長の提案説明もよく読むと既に完了していると書いてある」との発言があった。
- ・今本総務部長から「議案の文書をぱっと読んだだけでは理解できなかった。5月の同様な事例では議会に報告されており、今回そういう手続がされていなかったことは承知していない」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「契約変更の議案と同時に補正予算が提案されるのが筋であるが、今回は補正予算の提案がなかった。予算の流用ということだが、既に終わっているから補正しなかったのか。再発防止というが、皆が認識できていない状況でどう再発防止を図るかが分からない」との発言があった。
- ・古川副市長から「今回担当部署を強化したので、チェック体制も十分できたと考える。今後は何重にもチェックをし、議案提出する体制を整えていく」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「提案する側は誰もおかしいと気付いていなかったということか」との質問があった。
- ・松永大学推進室長から「出した私どもは済んだと理解していたが、議長等への連絡や報告は終わっているという思い込みで進めてしまった」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「チェック機能が今回は効かなかったということか」との質問があった。
- ・今本総務部長から「経過までは十分理解していなかったという点ではチェックが効いていなかった」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「正副委員長に相談するかどうかは何も関係がない。手続論でいえば専決処分か議会議決かしかなく、何でこういう提案になったかがよく分からない。議会の議決を経ないと執行できないという認識があったのか疑問である」との発言があった。
- ・古川副市長から「余り専決処分も議会に対してするべきではないが、こういうような場合は専決処分をすべきだったと考える」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「四つの理由のうち工法変更は4月6日に業者指示がされたということだが、市長選の頃であり業者に指示を出したのは誰なのか」との質問があった。

- ・松永大学推進室長から「日にち的に考えると前成長戦略室長ではないかと思う」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「当時の市長は関与していないのか」との質問があった。
- ・松永大学推進室長から「手元に指示書は残っているが、決裁の取扱いは今分からない」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「理科大の委員会で説明を求めたい。議案が承認されなかった場合はどうなるのか」との質問があった。
- ・松永大学推進室長から「今はあくまでも仮契約で、議決をいただいて本契約になるので、契約が宙に浮く形になる」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「否決されて宙に浮いたら元に戻すのか」との質問があった。
- ・古川副市長から「戻すというわけにはいかない」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「議会議決を経ないとはそういうことである。議会と執行部との信頼関係を壊してしまう問題だという認識が要る」との発言があった。
- ・古川副市長から「議会と執行部とは二元代表制、車の両輪と言われる。今後は速やかに相談していきたい。責任の所在については市長から副市長に厳重注意、大学推進室長に文書で訓告がされた。市長からは今回のことを深く反省し、再発防止に努めるよう指示を受けている」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「陳謝以外に厳重注意、文書注意ということで事が収まるのか。当時の担当者には人事異動という処分をしたということか」との質問があった。
- ・古川副市長から「人事異動はあくまで適材適所の異動である。専決をすることを逸脱したということで今回は処分された」との発言があった。
- ・矢田松夫委員から「組織の変更ということで担当を外したのか」との質問があった。
- ・古川副市長から「組織の変更と人事異動は別物である」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「今回の問題をどう教訓化するのか、執行部が提案する議案の内容についてきちんと認識を一致させる必要がある。市長の提案責任はないのか」との発言があった。
- ・古川副市長から「市長は自戒をしている」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「再発防止についてはどう考えているのか」との質問があった。
- ・古川副市長から「条例であれば担当課が上げてきたら例規審議会で審議し、総務に戻し、副市長、市長の決裁となる。契約についても財政や監理室等を

通って市長に上がる。並行して庁議で審議し、最終的に議会に上程する」との発言があった。

- ・河崎平男副委員長から「報道関係や市民にはどのような説明をするのか」との質問があった。
- ・古川副市長から「議会と執行部の1番の問題なので、まず議会にちゃんと説明をするのが筋だと考えている。報道や市民に対しては今考えていない」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「内部手続が今回機能しなかった。全体の認識の一致とどういうチェック機能が必要なのかがきちんと内部で議論されているのか。また市長の自戒はよく見えないので、特別委員会や議運の場で市長自身が発言する必要があるのではないか」との発言があった。
- ・古川副市長から「市長は明日も出られない。今回の説明でということできせてほしい」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「市長から何もないというのはいかがなものかと思うので、別の日にするなど内部で検討してほしい」との発言があった。
- ・執行部は退席した。

(2) 追加議案の取扱いについて

- ・事務局から9月7日に上程される追加議案について説明し、了承した。

平成29年（2017年）9月5日

議会運営委員長 大井 淳一郎